

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 'ひとり親家庭等入学祝金支給事業' and 'ひとり親家庭等支援事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on funding and procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Shows performance metrics for 26-30 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 26-30 years, categorized by 事業費 (事業費内訳) and 人件費 (人件費).

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 years, including 扶助費 (allowance).

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 28, 29, and 30 years of implementation content. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	ひとり親家庭等入学祝金支給事業	事務事業No.	20203000459	所属課	児童福祉課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 父子家庭の支援として 昭和51年に旧真壁町で制定した母子家庭等養育手当金(年1回10月支給)の廃止に伴い、中学・高校入学児童を監護しているひとり親家庭等の保護者に対して入学時の経済的負担軽減となるよう新たに制定された。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ひとり親等からは入学時経費の負担軽減になるとして喜ばれた。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 以前は広報、児童扶養手当現況届時お知らせ送付のみだったため、直前にひとり親になった方に漏れが生じてしまったため、平成27年度からは市民課窓口等において届出提出時に配布する「子どもに関する届出」に入学祝金制度の項目を追加した。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 児童福祉の増進につながり、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ひとり親家庭の支援事業であるので妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない ひとり親等に限定されており、向上の余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ひとり親家庭を支援するため廃止、休止することができない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はありません。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 期間も短く、効率的な事務処理を実施しているので削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ひとり親等に対するものであり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	ホームページ、お知らせ版掲載(H28年1月)や児童扶養手当現況届通知(7月)に入学祝金制度の案内通知を同封したりしたが、申請者数が少なかった。																																			
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																					
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																					
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>目的の再設定</td><td><input type="checkbox"/></td><td>効率性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/></td><td>公平性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>統廃合ができる</td><td><input type="checkbox"/></td><td>連携ができる</td></tr> </table>		<input type="checkbox"/>	目的の再設定	<input type="checkbox"/>	効率性の改善	<input type="checkbox"/>	有効性の改善	<input type="checkbox"/>	公平性の改善	<input type="checkbox"/>	統廃合ができる	<input type="checkbox"/>	連携ができる	<table border="1"> <tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="2">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><th>維持</th><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> <tr><th rowspan="2"></th><th>低下</th><td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×		低下	×	×	×
<input type="checkbox"/>	目的の再設定	<input type="checkbox"/>	効率性の改善																																		
<input type="checkbox"/>	有効性の改善	<input type="checkbox"/>	公平性の改善																																		
<input type="checkbox"/>	統廃合ができる	<input type="checkbox"/>	連携ができる																																		
		コスト																																			
		削減	維持	増加																																	
成果	向上																																				
	維持		○	×																																	
	低下	×	×	×																																	
	(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																																		
		成果優先度評価結果	④																																		
		コスト削減優先度評価結果	⑧																																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>